

多様性が求められる社会の影響もあり、さまざまな観点や立場より多くの意見が交わされ、ある事象や行動についても善悪良否の判断が難しくなっています。また、専門家や評論家ばかりでなく老若男女だれでも情報発信が可能な現代では、その情報がどの程度重要なのかの判定が困難です。常に一方向性の意見に統一される社会よりは健全なのかもしれませんが、「水戸黄門」のドラマを見て育った世代としては、現代社会は常識非常識がわかりにくい重力の定まらない世の中とも感じます。医療関係も特に機能的分野では情報が錯綜しており、今こそ必要な情報を収集整理し、正しく活用する能力が問われています。

さて、今回の特集は超高齢社会において多くの課題を伴う骨粗鬆症による椎体骨折に対する治療についての企画です。大半の症例は早期診断および適切な薬物、装具療法にて保存的に改善することは周知のごとくです。一方、一部の症例では疼痛の遷延や骨癒合不全が生じ、さらに重篤な椎体破壊による脊柱変形や遅発性神経障害を呈することが知られています。昨今ではこれらの転帰不良因子が徐々に解明されつつあり、低侵襲な治療を含め外科治療の安全性や計画性、戦略性も向上しています。したがって、予後不良が予測される症例においていたずらに保存治療を長引かせ、本来回復可能な生活の質が享受できなくなることは外科医としては忤怩たる思いです。また、これだけ画像診断が進歩し、情報が流通した時代であっても、高齢で骨条件が不良というだけで、胸腰椎の椎体圧潰が進行し高度な下肢麻痺が完成した状態で相談される症例がいまだにあることも事実です。骨粗鬆症治療薬の選択肢が多いことも含め、内科的・外科的治療が多様化していることは混乱しやすい状況ともいえますが、最新データを含めこれまでの情報を整理抽出し、個々の患者に沿った治療選択が行えるメリットも期待できます。本特集はこの分野のエキスパートの先生方に骨粗鬆症による椎体骨折の保存治療および外科治療の最前線を執筆いただきました。最善の保存治療を基本としながらも、保存治療抵抗因子を勘案し適切な外科治療のタイミングと術式選択を考慮するための参考となる一冊です。ぜひご活用ください。

(高橋敏行)

脊椎脊髄ジャーナル

編集顧問

萬年 徹 金田清志 小柳知彦
田代邦雄 国分正一 服部孝道

編集委員

山崎正志 (編集委員長)
亀山 隆 園生雅弘 高橋敏行
高見俊宏 筑田博隆 永島英樹
中村雅也 根尾昌志 原 政人
飛驒一利 堀 正明 松山幸弘
安原隆雄

Vol. 37 No. 3
(2024 年 4 月 25 日発行)

毎月 1 回 25 日発行

1 部定価 (本体 2,500 円 + 税)

(配送料別)

年きめ予約購読料 33,300 円 + 税

送料弊社負担

発行／株式会社 三輪書店
代表者 青山 智

〒113-0033

東京都文京区本郷 6-17-9

本郷網ビル

TEL 03-3816-7796

FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>

(担当：山岸)

印刷所／三報社印刷株式会社

TEL 03-3637-0005

広告申込所／

(株)文栄社

TEL 03-3814-8541

(株)ハイブリッジエージェンシー

TEL 03-3814-0089

本誌の内容の無断複写・複製・転載は著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.
6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, TOKYO © 2024,
Printed in Japan

JCOPY 〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。